

くよみ通信

No. 32 2021/07/01

トビの親子が見えた



ドローンを飛ばして、トビの巣を撮影

6月5日、青陵の森に初めてドローンが飛びました。

青葉区中央市民センターの齋田先生の操縦技術で、樹々の枝の隙間をぬって、10mはある松の木のとっぺんにある巣を撮影できました。

中には、まだ飛べない巣立ち前のトビ（トビ）のヒナが一羽、親鳥と一緒に見えました。珀杜さんが、老朽化していた広場のテーブル・ベンチを新



築した。一羽、親鳥と一緒に見えました。珀杜さんが、老朽化していた広場のテーブル・ベンチを新

↑ドローン

しいものと交換してくれて、雰囲気明るくなりました。新会員の入会で大所帯になったくよみの会。新会員たちのあくなき植物への知識欲が、会に新たな刺激を与えているようで、活気づいています。

芋沢街道を往く 往時の人々への想い(菅原記)

6月10日晴天の下、3名の一般参加者を迎えて、芋沢街道を歩いた。

バラの花の芳しい香りに包まれて貝ヶ森バラ園を出発。仙台藩火薬製造所跡地へ。自前で建てたという石碑のあるお宅で、奥様からお話を伺った。

次に向かったのは国見の瘡神。国見台病院の北側、街道沿いの一角に三体の石像がある。その昔、街や村に入ろうとする疫病神をもてなし外に追い返し、疫病を防ぐために安置



→弁財天堂の階段 ↓弁財天堂の軒下にも絵馬があった

されたそう。

コロナウィルスの収束を願い、皆で石像を撫でる。

急な勾配の一の坂を上り、芋沢街道の名前を残す仙山線踏切を経て二の坂、そして弁財天堂・臨濟院跡へ。

往時の人々の暮らしに思いを馳せた一日だった。

初夏の青陵の森を 新会員と共に歩く

6月17日、青陵の森の南側ルートを歩きました。小さな花の、神造形に感動です。

↑ヤブムラサキ 葉の下に花を付けます。葉はふわふわします(毛が生えている)



↑ユキノシタ (春先天がらでいただけるそうです。来年は山菜食堂が開けるといいですね)

2021年7~9月の活動予定

7/1(木) 定例会

「仁田谷地・観察会」

- ◆初めての見学地です
- 集合 10:00 K's デンキ仙台西店玄関前
- 会員のみ参加可

7/15(木) 定例会

「青陵の森・観察会」

- 集合 10:00 青陵中等教育学校
- 会員のみ参加可

8/5(木) ※8/19はお休み

「青陵の森・観察会」

- 集合 10:00 青陵中等教育学校
- 会員のみ参加可

9/2(木)

「芋沢街道・唸り坂」

- 集合 9:30 吉成市民センター
- 会員のみ参加可

ジャパンミートの「1%クラブ」に参加

レシートの裏に「くよみ」と書いて投函すると1%寄付される。

↑もう数枚入っていて感激

看板に「芋沢街道踏切」とある↑